

# 保険適用（3割）価格 一覧 （2022年4月1日～）

保険（3割負担）の治療周期は、自費診療を行う『混合診療』を行うことはできません。

保険適用で治療を行うには婚姻・事実婚（認知必須）、治療開始時や治療計画変更時に夫婦での来院が条件となります。

○一般不妊治療管理料：750円（3ヶ月に1回）

○人工授精：5,460円 ※年齢、回数制限はありませんが月に1回のみです。

1. 生殖補助医療管理料：750円（体外受精周期毎）

治療計画を立てた日に加算されます。初回の生殖補助医療管理料算定時の妻の年齢によって保険診療で治療できる回数が決まります。

- ・40歳未満で開始した場合：最大「胚移植」6回まで
- ・40歳以上43歳未満で開始した場合：最大「胚移植」3回まで
- ・43歳以上：保険適用なし

※回数のカウントは採卵ではなく、胚移植です。採卵回数に関して回数制限はありません。

2. 採卵術： 9,600円+採卵数によって料金加算

1個	16,800円（9,600円+7,200円）
2～5個	20,400円（9,600円+10,800円）
6～9個	26,100円（9,600円+16,500円）
10個以上	31,200円（9,600円+21,600円）

※静脈麻酔代別途

3. 体外受精： 12,600円

顕微授精：	1個	14,400円
	2～5個	20,400円
	6～9個	30,000円
	10個以上	38,400円

※split法（顕微授精・体外受精の両方を行う）の場合：顕微授精代+体外受精代の半額（6,300円）

※TESE精子使用の場合：15,000円の加算

4. 胚培養料金： 受精卵培養料金+培養個数の胚盤胞加算(6日目まで培養する場合)

受精卵培養：	1個	13,500円	胚盤胞加算：	1個	4,500円
	2～5個	18,000円		2～5個	6,000円
	6～9個	25,200円		6～9個	7,500円
	10個以上	31,500円		10個以上	9,000円

※先進医療：タイムラプス培養加算34,000円

5. 胚移植：

新鮮胚移植	22,500円
融解胚移植	36,000円
AHA	3,000円

※AHA：レーザーアシステッドハッチング

6. 胚凍結保存：

1個	15,000円
2～5個	21,000円
6～9個	30,600円
10個以上	39,000円

## 自費価格 一覧

不妊治療保険適用に伴い自費で治療を行う方に関しまして、体外受精・顕微授精・胚移植・胚凍結保存は保険点数の10割の料金とさせていただきます。

なお、採卵術・胚培養料金におきましては数に関係なく一律の料金とさせていただきます。

**自費の治療費に関しまして、窓口でのお支払いは下記料金に別途消費税がかかります。**

1. 採卵術： 104,000円 **採卵数に関係なく一律の料金です。※麻酔代は別途**

2. 体外受精： 42,000円

顕微授精：	1個	48,000円
	2～5個	68,000円
	6～9個	100,000円
	10個以上	128,000円

※split法（顕微授精・体外受精の両方を行う）の場合：顕微授精代+体外受精代の半額（21,000円）

※TESE精子使用の場合：50,000円の加算

3. 胚培養料金： 受精卵培養料金+培養個数の胚盤胞加算(6日目まで培養する場合) **受精数に関係なく一律の料金です。**

受精卵培養： 105,000円 胚盤胞加算： 30,000円

※タイムラプス培養加算34,000円

4. 胚移植：

新鮮胚移植	75,000円
融解胚移植	120,000円
AHA	10,000円

※AHA：レーザーアシステッドハッチング

5. 胚凍結保存：

1個	50,000円
2～5個	70,000円
6～9個	102,000円
10個以上	130,000円